



わかりやすい予算書

ことしの予算

平成30年度版

亀山市

亀山サンシャインパーク(布気町)

平成30年度予算総額

334億5,810万円

平成30年度当初予算は、第2次総合計画前期基本計画の2年目として、計画を着実に推進させるため、新しい図書館を含めたJR亀山駅周辺の拠点力向上をはじめ、地域の公共交通の再編と新たな交通手段の確保や地域で助け合う福祉のしくみづくり、子育て世代への切れ目のない支援などの施策に重点を置いた予算としました。

“緑の健都”展開予算

主な事業として、JR亀山駅周辺整備事業では駅前広場や関連道路などの整備に着手するほか、川崎小学校改築事業及び「関の山車」会館整備事業は事業最終年度となることから、年度内完成を目指して進めます。

新たな事業として、地域の公共交通の再編・充実を図るため乗合タクシーの運行を開始するとともに、地域における助け合い・支え合いのしくみづくりとして、亀山市社会福祉協議会にコミュニティソーシャルワーカーを配置します。そのほか、妊娠期から子育て期までの総合的な支援体制の充実に向け、子育て世代包括支援センターを設置するとともに、未就学児(0歳～6歳)の医療費の窓口無料化を実施していきます。



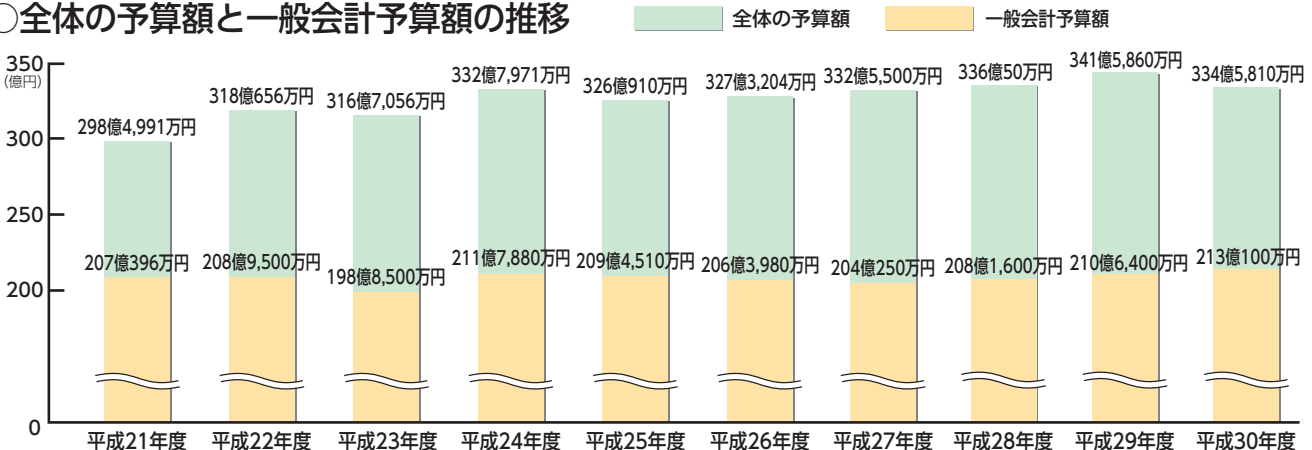
特別会計は、特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計と区別して収入・支出を経理する会計です。

- ① 国民健康保険事業
45億330万円(前年度比14.1%減)
- ② 後期高齢者医療事業
10億900万円(前年度比12.7%増)
- ③ 農業集落排水事業
4億8,550万円(前年度比7.5%増)

企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営する会計です。

- ① 水道事業
17億9,950万円(前年度比11.4%減)
- ② 工業用水道事業
8,580万円(前年度比0.2%減)
- ③ 公共下水道事業
22億4,850万円(前年度比1.7%増)
- ④ 病院事業
20億2,550万円(前年度比6.9%減)

○全体の予算額と一般会計予算額の推移



一般会計を

大解剖

一般会計とは、福祉や防災、道路、教育など市役所の基本的な仕事に関する収入と支出を経理する会計です。

総額

213億100万円

歳入

歳出

市税 105億4,540万円

市民税や固定資産税など

繰入金 10億8,136万円

貯金(基金)の取り崩し

諸収入 3億477万円

雑収入など

繰越金 1億円

前年度からの繰越金

その他 6億4,379万円

保育料や使用料など

* 自主財源

市が自主的に収入できる財源

国庫支出金 25億7,073万円

国からの補助金など

市債 20億9,210万円

公共事業の財源とするために借りたお金など

地方交付税 14億6,000万円

財政力に応じて国から交付されるお金

県支出金 11億685万円

県からの補助金など

地方消費税交付金 9億円

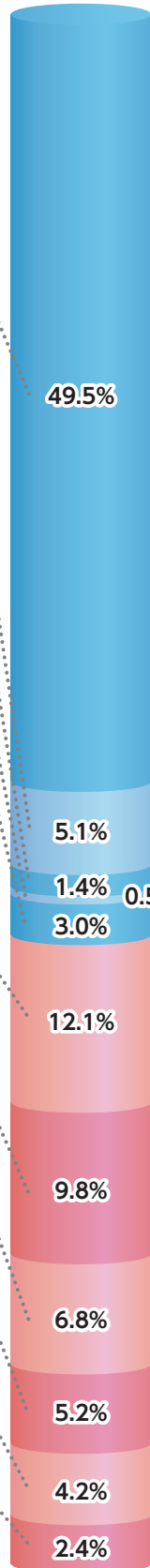
消費税のうち、地方分として市に配分されるお金

その他 4億9,600万円

地方譲与税など

* 依存財源

国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入



民生費 66億9,895万円

障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護などに

教育費 22億2,185万円

学校教育、生涯学習、図書館、博物館などに

土木費 35億2,967万円

道路、河川、公園などの整備に

衛生費 21億7,997万円

健康増進、疾病予防、環境保全、ごみ処理などに

公債費 22億6,364万円

借りたお金(市債)の返済に

総務費 21億646万円

庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計などに

消防費 8億4,385万円

消防や火災予防などに

農林水産業費 7億4,348万円

農業、林業の振興などに

商工費 3億4,063万円

商業などに

議会費 2億4,187万円

議会運営などに

その他 1億3,063万円

基金積立金などに

新規事業
・
主な事業

持続可能な 都市づくりに向けて

JR亀山駅周辺の整備 地域公共交通



図書館整備事業

予算額 **98万円**

市民の読書活動や生涯学習拠点としての機能の向上を図るため、亀山駅前に新図書館を整備します。「学びの場からつながる場へ」を基本理念とし、市全体のまちづくりを支える「公共図書館」を目指して、情報発信を行うほか、ワークショップを開催します。

問 教育委員会事務局生涯学習課
☎ 84-5057



地域生活交通再編事業

予算額 **1億2,091万円**

亀山市地域公共交通計画に基づき、既存のバスなどによる効率的・効果的な運行に加え、新たな交通手段として乗合タクシーを運行し、都市拠点と各地域を結ぶ公共交通ネットワークを構築します。

問 産業建設部産業振興課
☎ 84-5049

亀山駅周辺整備事業

予算額 9億7,000万円

JR亀山駅周辺のにぎわいづくりと活性化、また、利便性や安全性の向上を図るため、駅周辺の整備を進めます。

組合や事業者が行う再開発事業等を支援するとともに、駅前広場や周辺道路の整備に取り組みます。

問 産業建設部都市整備課
☎ 84-5099



産業振興奨励事業

予算額 5,300万円

地域産業の活性化、就労の場の確保のため、亀山市産業振興条例に基づき、市内において事業所の新設、増設、移設を行う事業者には奨励金を交付し、設備投資を促進するとともに、雇用の拡大を図ります。

問 産業建設部産業振興課
☎ 84-5049



都市マスタープラン策定事業

予算額 425万円

都市機能や居住地が適切に配置された都市をつくるとともに、市街地と地域のネットワークが構築された持続可能な都市づくりを進めます。

アンケートや地域懇談会などで市民の意見を聴くほか、ワークショップを開催します。

問 産業建設部都市整備課
☎ 84-5046

新規事業 ・ 主な事業



子育て環境の充実を 目指して



川崎小学校改築事業

予算額 3億1,240万円

校区内児童数の増加に対応し、児童の学習環境の整備を図るため、また、避難経路の確保や段差の解消など、安全管理面やバリアフリー面の課題を解決するため、校舎を改築しています。

問 教育委員会事務局教育総務課
☎ 84-5073



普通教室等空調機整備事業

(小学校) 予算額 950万円

児童・生徒が快適な環境の中で学ぶ意欲を高めることができるよう、教育環境を整備します。

小学校のすべての普通教室及び音楽室にエアコンを設置します。

問 教育委員会事務局教育総務課
☎ 84-5073



少人数教育推進事業

予算額 2,793万円

学校における子どもたちのより良い学習環境づくりを進めるため、小・中学校における過密学級の解消やきめ細かな指導に取り組むため、講師を配置して本市独自の少人数教育を推進しています。

問 教育委員会事務局学校教育課
☎ 84-5075



子育て世代包括支援事業

予算額 7,751万円

安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整えるため、妊娠期から子育て期までの切れ目のない子育て支援策の充実を図るため「子育て世代包括支援センター」を設置し、産婦健康診査や新生児聴覚検査に対する費用助成を行います。

問 健康福祉部長寿健康課
☎ 84-3316



放課後児童クラブ事業

予算額 1億5,800万円

放課後児童クラブの運営を支援し、就労などで保護者が昼間家にいない小学生の安全な居場所を確保し、保護者が仕事などと子育てを両立できる環境づくりを行います。今年度は昼生小学校敷地内に放課後児童クラブを整備します。

問 健康福祉部子ども未来課
☎ 96-8822



長期休暇子どもの居場所事業

予算額 386万円

夏休みなどの長期休暇に、保護者が就労などにより家にいない小学生を対象とした「子どもの居場所」を開所します。子どもの安全な居場所を確保するとともに、保護者が安心して就労などができる環境を整えます。

問 健康福祉部子ども未来課
☎ 96-8822



福祉医療費助成事業 (子ども)

予算額 2億84万円

中学校終了までの児童にかかる医療負担を軽減し、安心して子育てができるよう、通院・入院に要する医療費を助成します。また、9月から、未就学児を対象に、市内医療機関において、医療費の窓口無料化を行います。

問 生活文化部市民課
☎ 84-5005

緑のまちづくり

森林環境創造事業

予算額 1,995万円

森林の持つ機能(水を蓄える、土砂の流出を防ぐ、温暖化を防止するなど)が効果的に発揮されるよう、森林の整備と保全のため間伐を行い、針葉樹と広葉樹が生育する森林づくりを行います。

問 産業建設部産業振興課
☎ 84-5068

亀山7座トレイル事業

予算額 58万円

市域の鈴鹿山系を代表する7つの山を結ぶ登山ルートを安全に歩けるようにコースを整備し、市民団体と協働して、新たな観光資源として広く周知・活用します。

問 生活文化部地域観光課
☎ 96-1215

希少水生生物保護増殖事業

予算額 205万円

河川環境の変化などにより絶滅が危惧されている国指定天然記念物ネコギギについて、市内の河川の環境調査を行い、生息状況をあきらかにし、その保護増殖を継続します。

問 生活文化部文化スポーツ課
☎ 96-1218

みえ森と緑の県民税市町交付金事業

予算額 1,635万円

災害に強い森林づくり、県民全体で森林を支える社会づくりを目的に、鈴鹿川等源流域再生事業(間伐)や森と木材のふれあい事業(森の学校、木育教室など)に取り組みます。

問 産業建設部産業振興課
☎ 84-5068



その他の 主な事業



地域福祉力強化推進事業

予算額 800万円

多様な人びとが心身ともに健やかな日々を過ごせる「共生」の地域社会の実現を目指し、亀山市社会福祉協議会にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、地域まちづくり協議会を単位とした福祉課題を解決するしくみをつくり、地域における助け合い・支え合い活動を促進します。

問 健康福祉部地域福祉課
☎ 84-3311

全国高等学校総合体育大会開催事業

予算額 1,350万円

今年度開催のインターハイ「2018 彩る感動 東海総体」において、本市でウエイトリフティング競技大会が開催されます。大会開催のために組織する実行委員会に参画し、円滑な大会運営を行うとともに、市民がトップレベルのスポーツ競技を身近に感じることにより、スポーツ文化の浸透を図ります。

問 生活文化部文化スポーツ課
☎ 96-1225

「関の山車」会館整備事業

予算額 1億402万円

「関の山車」を保存・展示し、祭囃子等の伝承活動や関宿見学の拠点となる「関の山車」会館を整備します。見学者との交流により、関宿の新たな魅力づくりと地域振興を図るとともに、開館後の管理・運営を見据えて、保存会等の活動団体の支援を行います。

問 生活文化部文化スポーツ課
☎ 96-1218



●若者交流推進事業 予算額 90万円

「かめやま若者未来会議（愛称：わかめ）」が中心となって、多種多世代の人との交流会などを開催し、若者による積極的なまちづくりに取り組みます。

問 総合政策部政策課 ☎ 84-5123

●地域人材キラリ育成事業 予算額 1,479万円

市民大学キラリと中央公民館講座や行政講座を一体的に進め、地域での学びを深め、地域で活躍できる人材を育成します。

問 教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 84-5057

●空家等活用・対策事業 予算額 640万円

空家の利活用を促進し、定住促進と地域の活性化を図るため、移住者と所有者のマッチングを図るとともに、改修費の助成などを行います。

問 産業建設部都市整備課 ☎ 84-5038

●地籍調査事業 予算額 1,919万円

市の登記簿と公図は明治時代に作成されたものが多く、実態を正確に把握できない状況にあります。所有者や地番、境界、地積などの調査を行い、土地の利用促進や大規模災害への備えに取り組みます。

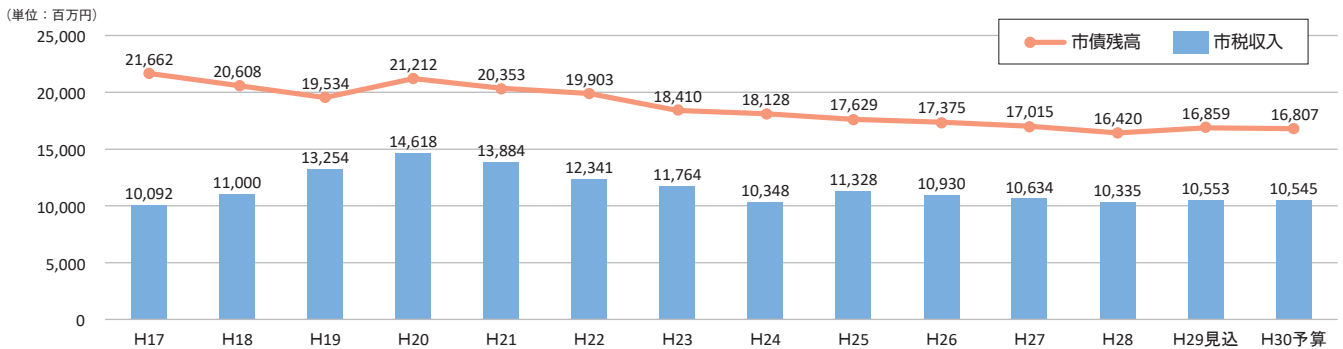
問 産業建設部用地管理課 ☎ 84-5045

地方交付税・社会保障関係費・医療保険の 税負担・行財政改革の **ポイント!**

●市税収入と市債残高の状況

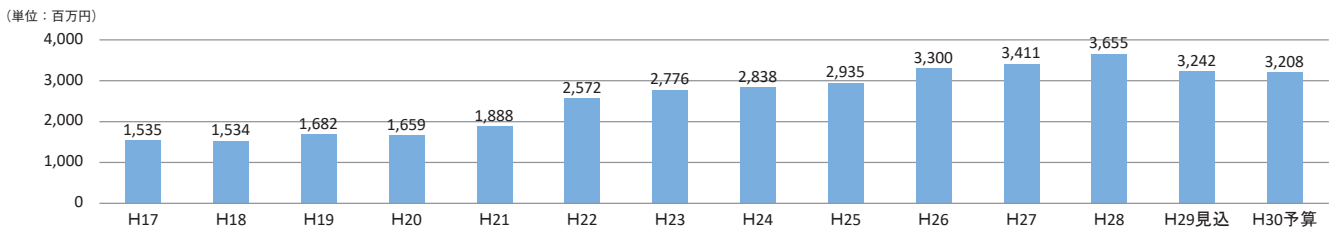
市税収入については、合併時の平成17年度から平成20年度までは増収傾向にありましたが、平成20年度のピーク時と比較すると約3割ほど減収となっています。

市の借金となる市債残高については減少傾向にあり、合併時の平成17年度と比較して、約2割ほど減少しています。



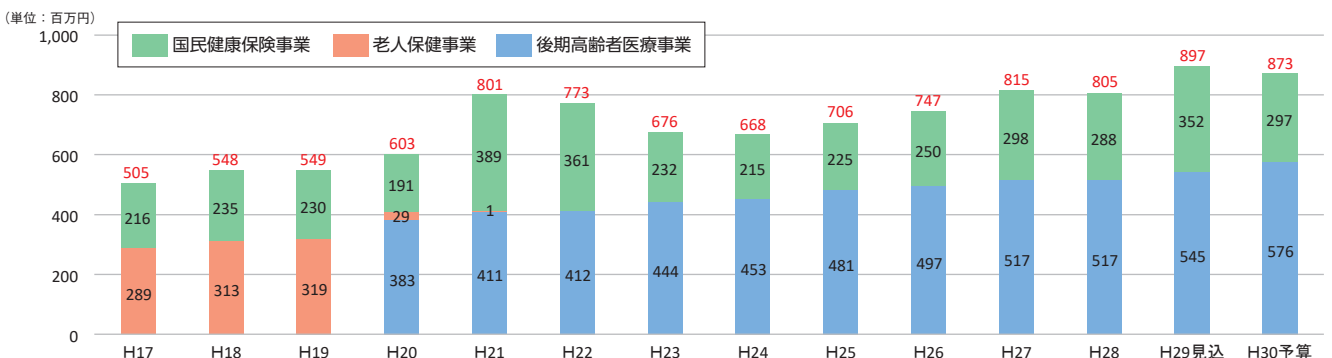
●社会保障関係経費(扶助費)の状況

生活保護や児童、老人並びに障がい者福祉などの社会保障制度に係る経費である扶助費は年々増加しており、合併時の平成17年度と比較して約2倍に拡大しています。



●医療保険の税負担(一般会計繰出金)

超高齢化社会の進展などにより医療保険に対する税負担が年々増加しており、合併時の平成17年度と比較して約1.7倍に拡大しています。



●平成30年度の行財政改革のポイント

市では、「第2次行財政改革大綱(取組期間 平成27～平成31年度)」に基づき、持続可能な行財政運営の確立を目指し取組を行っています。

平成27年度から平成29年度までの前期実施計画に引き続き、平成30・31年度の後期実施計画に取り組みます。

- 協働や民間活力の活用等による事務効率の向上や受益者負担の適正化と事務事業の検証・評価による見直しにより、歳入の確保と歳出の削減を図ります。
- 平成30年4月実施の組織機構改革により、効率的・効果的な行政運営の推進を図ってまいります。
- 国民健康保険事業や公共下水道事業などの特別会計・企業会計において、独立採算制の原則のもと収入の確保と支出の削減を図るなど、一般会計からの繰入に依存しないような経営の健全化に努めます。

※H17からH28までは決算数値、H29は決算見込み数値、H30は当初予算額

年収約420万円の
家計に例えると…
(市予算の1/5000)

5万人の台所事情

亀山家(市)の家計簿

平成30年度の一般会計予算を5,000分の1にして、家計簿に例えてみました。
市のさまざまな種類の歳入と歳出があり、一般の家庭とは少し違った内容になっていますが、亀山家(市)の年間の家計簿をつくってみると…

収入		29年度からの増減	支出		29年度からの増減
現金収入合計	360万円	(+14万円)	生活費用合計	293万円	(-6万円)
給料(基本給)	217万円	(+6万円)	食費	65万円	(-1万円)
▶ 市税、分担金および負担金			▶ 人件費		
給料(諸手当)	57万円	(-1万円)	医療費	64万円	(+2万円)
▶ 地方交付税、譲与税・交付金等			▶ 扶助費		
パート収入	12万円	(-1万円)	光熱水費などの雑費	109万円	(+6万円)
▶ 諸収入、使用料・手数料			▶ 物件費、補助費等		
祖父母からの仕送り	74万円	(+10万円)	車などの修理代	11万円	(+1万円)
▶ 国庫支出金、県支出金			▶ 維持修繕費		
ローン(借入金)	42万円	(-4万円)	教育費	44万円	(-14万円)
▶ 市債					
貯金の取り崩し	22万円	(-5万円)	子どもへの仕送り	37万円	(+1万円)
▶ 繰入金			▶ 繰出金		
繰越金	2万円	(0万円)	ローンの返済	45万円	(0万円)
▶ 繰越金			▶ 公債費		
			家や庭の建築・改修	47万円	(+9万円)
			▶ 普通建設事業費、災害復旧費		
			貸付など	2万円	(+1万円)
			▶ 貸付金、投資および出資金		
			貯金など	2万円	(0万円)
			▶ 積立金、予備費		
収入合計	426万円	(+5万円)	支出合計	426万円	(+5万円)

平成30年度の家計は…

家計簿をしっかりチェックして、収入に見合った支出を心がけないとね。



収入は、昨年度に比べて基本給が増える見込みのため、ローンの借り入れや貯金の取り崩しを少し減らす予定です。

支出では、教育費が大きく減った一方で、光熱水費などの雑費が増える見込みであるため、出費を極力抑えることとしています。家などの老朽化により改築・改修の費用が大幅に増えています。

今年度は一時的に基本給が増加しましたが、来年度以降はまた給料の減少が見込まれており、節電や節水に努めるのはもちろんのこと、その他の出費についても無駄がないか徹底的に見直して節約します。また、貯金の取り崩しは最小限にとどめ、ローンを借り入れることにより支出の平準化を図り、家計の安定に向けてより一層努力していきます。

歴史・ひと・自然が心地よい

緑の健都 かめやま



平成30年度版 亀山市

わかりやすい予算書

ことしの予算

編集・発行 亀山市総合政策部政策課

〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地

TEL 0595-82-1111(代) FAX 0595-82-9955

URL <http://www.city.kameyama.mie.jp>